

開催日時：2003 年 9 月 20 日（土） 13：30～16：15 場 所：大阪会館 A ホール

参加者数：委員 13 名（うち 1 名は部会長の要請により参加） 河川管理者 19 名

1 決定事項

- ・淀川部会とりまとめについては、河川別のとりまとめを引き続き行う。各担当者は、9/5 の委員会に提出したとりまとめを基礎原案の「5 章 具体的な整備内容」に沿って、書き直す。最終的に、部会長と代理が全体の調整を行う。
 - ・整備内容シートへの意見については、委員会全体で意見募集を行う。淀川部会関連事業については、各担当者が部会委員からの意見を河川別に集約する。
 - ・次回の部会は、10/13（月・祝）10：00～13：00 に開催する。会場は、同日に予定されている琵琶湖部会と調整の上で決定する。
- （部会とりまとめ担当）木津川、川上ダムに関連する事業：原田委員 桂川に関連する事業：田村委員 宇治川、瀬田川、天ヶ瀬ダム、大戸川ダムに関連する事業：今本委員 淀川本川に関連する事業：紀平委員
- （整備内容シート意見の集約担当）木津川、川上ダムに関連する事業：谷田委員 桂川に関連する事業：塚本委員 宇治川、瀬田川、天ヶ瀬ダム、大戸川ダムに関連する事業：山本委員 淀川本川に関連する事業：有馬委員
- （スケジュール）整備内容シートへの意見募集（全委員対象）は 9/30 まで。整備内容シート意見集約（集約担当委員）は 10/6 まで。部会とりまとめ（とりまとめ担当委員）は 10/10 まで。

2 検討内容

委員会等の状況報告

資料 1「第 22 回淀川部会（2003.8.26 開催）、第 24 回委員会（2003.9.5 開催）結果報告」を用いて、委員会等の状況の説明が部会長から、委員会の意見書のとりまとめ状況が今本リーダーから報告された。

淀川水系河川整備計画基礎原案についての意見交換

委員会全体の意見書に取り込むべき内容や資料 2「淀川部会とりまとめ（案）」について意見交換が行われた。主な意見とやりとりは次の通り。

- ・淀川河川公園について、これまでの問題点や課題等の総括を基礎原案に記述して欲しい。
基礎原案にはフォローアップ委員会できまった今後の方向性を記述しており、改めて総括する必要はないと思っている。（河川管理者）
- ・基礎原案 P29 の「ダム水源地域の活性化に向けた取り組み」については、地域の活性化がダム周辺の環境の負荷を増大させないように考慮していく必要がある。
「ダム水源地域の活性化」については、単なる過疎対策ではなく真の地域活性化に資するような方策を委員会も具体的に提案していかなければならない。
- ・整備内容シートでは、整備の優先度がわからない。例えば、魚道の整備は、やりやすいところからではなく、最下流の淀川大堰から整備すべきではないか。

川の中だけで上り下りしている魚もいるので、下流から優先して整備する必要はないのでは。

以上

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を参照下さい。